



2020年5月15日

各 位

会 社 名 西川ゴム工業株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 福岡 美朝  
(コード番号 5161 東証二部)

問 合 せ 先 取締役管理本部長 休石 佳司  
(TEL : 082-237-9371)

## 株主提案権行使に関する書面の受領および当社の対応に関するお知らせ

当社は下記のとおり、株主1名より、2020年6月25日開催予定の当社第71回定時株主総会における株主提案権行使に関する書面を受領し、取締役会において、同提案に対する取締役会の反対意見を決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 提案株主

株主名 アールエムビー・ジャパン・オポチュニティーズ・ファンド, エル・ピー

#### 2. 提案された内容の概要および当社取締役会の意見

##### (1) 議題

自己株式取得の件

##### (2) 議案の内容

別紙1に記載のとおりです。なお、別紙1は、株主から提出された株主提案書の記載をそのまま掲載しております。

## 別紙 1

### 提案議案

#### 1. 株主総会の目的事項

自己株式取得の件

#### 2. 自己株式の取得の件

##### (1) 議案の要領

会社法156条1項の規定に基づき、本定時株主総会終結のときから1年以内に当社普通株式を、株式総数88,000株、取得価格の総額100,000,000円（ただし、会社法により許容される取得価額の総額（会社法461条に定める「分配可能額」）が当該金額を下回るときは、会社法により許容される取得価額の総額の上限額）を限度として、金銭の交付をもって取得することとする。

##### (2) 提案の理由

市場において株価が低い評価を受けている場合には、会社は、自社株を買戻すことで、株主に投下資本回収の機会を与えるだけでなく、経営陣により「自社株が市場において不当に安い評価を受けている」との見解を示すことができます。これらを通じて、将来の企業価値の向上に資することになります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、貴社の株価は本来よりも低い評価となっています。日本経済が景気後退に直面しているとされる中、不確実性に対処しつつ経営安定性を維持するため、一定の手元資金を確保することは必要です。しかし、貴社の場合は、今後想定される資金流出を勘案しても、本提案の規模の自己株式の取得は十分可能であり、自己株式の取得が将来の企業価値向上に資することが見込まれるため、本提案を致します。

#### 〈当社取締役会の意見〉

### 当社取締役会としては、本議案に反対いたします。

当社は株主様への利益還元を重要課題と認識しており、経営体質の強化および将来の事業展開に備えての内部留保の充実等を勘案すると共に、業績に対応し、配当性向を考慮しつつ安定した配当を維持することによる還元を基本方針としております。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大を起因とする景気後退局面に備えるため、当社といたしましては、株主様への利益還元を考慮しつつ、並行して財務健全性（安定資金）を確保いたします。内部留保は引き続き充実させ、その上で将来に向けた投資を実施し企業価値の向上を図り、中長期的な視点による持続的な成長を続けていくことが、株主の皆様利益に資するものと考えております。

当社は、自己株式の取得も、株主還元の有用な一手段と認識しておりますものの、現時点においてはその時期にないと判断しております。また、当社定款第39条には、取締役会の決議によって自己株式の取得を行うことができる旨の定めが置かれており、当社といたしましては、適宜取締役会にて協議を行いつつ、株主総会でご決議をいただくことなく、かかる定めにより自己株式の取得を行うことも検討してまいり所存でおります。

したがいまして、当社取締役会としては、本議案に反対いたします。

以 上